

<活動報告書>

フリガナ	ヒョウゴケンリットウバンコウギョウコウトウガッコウ	
①団体名・学校名	兵庫県立東播工業高等学校	
②担当者	フリガナ	
	氏名	
	所属 役職	土木科 主幹教諭
	TEL	079-432-6861
E-mail		
③申請テーマ	地域防災力を高め、ものづくりを通して交流を深める。(防災かまどベンチの製作)	
④活動期間	令和3年 4月 ~ 令和4年 2月	
⑤活動内容を記載	<p>活動目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年間学んできた専門科目の知識や技術を活かして、ものづくりの楽しさや魅力を体験する。 ・自分たちが手掛けたものが継続的に使用されることにより、建設分野のやりがいを感じることができる。 ・ものづくりとは実習などで培った技術や知識だけでできるものではなく、使う人のことを考えて取り組むことが重要だと感じる機会となる。 ・実習を通して建設業の魅力を体験することで、建設業への入職希望者を増やす。 <p>具体性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の課題研究(実習)の中で、本校敷地内に防災かまどベンチを整備する。 ・防災教育を確認し、社会と地域の実態を知り、備え方や災害発生時の対処の仕方を学ぶ。 ・地域に根付いた取り組みとなるように学習成果発表会を実施し、一般に公開する。 ・地域防災力を高め、ものづくりを通して交流を深める。 	
⑥活動費用合計	¥218,257 円	
⑦別紙説明資料の有無	ある ・ なし	

<活動状況写真>

【写真1】



(状況説明)
防災かまどベンチの設置予定場所の現況測量する。(オフセット測量および水準測量)
また、測量後は利用計画図を作成する。

次に、防災かまどベンチの模型を作成(S=1/3)後、ベンチ部分の寸法などについて検討し、使用する耐火煉瓦の個数などを確認した。

【写真2】



(状況説明)
防災かまどベンチ設置予定地の地盤を小型重機で掘削し、基礎部分の締固めを行う。計画図を基に、地盤の高さを確認・調整する。

次に、防災かまどベンチの基礎部分を施工する。砕石の敷き均し・型枠の製作、設置・ワイヤーメッシュの設置の後、コンクリート打設を行う。

【写真3】



(状況説明)
耐火煉瓦を使用し、かまど部分の煉瓦を積み上げる。水平器を使用しながら、各煉瓦が水平になるように設置する。煉瓦の接着には、アサヒキャスターを使用する。

次にベンチとなる座面部分を製作し、野外の設置になるため、腐食防止の塗料を塗り、完成する。